

■ 活動概要

2020年度は、タイムベースドメディア・プロジェクトの3年目の成果発表として「ぎふ未来音楽展 2020 三輪眞弘祭 -清められた夜-」に集中して取り組んだ。これはプロジェクトの代表である三輪眞弘教授が中心となり、サラマンカホール(岐阜県)が主催するライブ配信を前提とした舞台作品であるが、前田はその映像監督を担当した。新型コロナウイルス感染症の拡大が社会に甚大な影響を与える、いわゆる「コロナ禍」に、「中継芸術」の可能性を探究した本公演は高い評価を得て、年度末の3月にはサントリー芸術財団から「佐治敬三賞」を授かった。

京都大学人文科学研究所が主催する「『システム内存在としての世界』についてのアートを媒介とする文理融合的研究」に班員として通年参加することで得た知見が、先のライブ配信作品に奥行きと強度を与えてくれた。

個人研究としては、10年以上前から継続している映像作品のシリーズ『日々 "hibi" AUG』と『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW』の制作を進めた。『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW』は10年前にあたる2011年に編んだオムニバス・ムービーが文化庁メディア芸術祭京都展にて上映される機会を得て、さらに考察を深めることができた。その他に、金箔絵画に映像をマッピングするコラボレーション作品を京都のギャラリーで発表した。(安喜万佐子展・京都場 kyoto-ba)

昨年に引き続き、図書館長として附属図書館の運営を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本学の学生・教職員のみ利用に制限し、開館時間の短縮などの措置をとった。新たに郵送貸出サービスを開始し、1回あたりの貸出冊数を多くするなど利用方法を見直した。IAMAS Library Art Space で開催していた「木村伊兵衛写真賞 歴代受賞写真集展」は、年度当初に一時休止したのだが、年度内に再開はできなかった。

学外での活動としては、日本映像学会において中部支部担当理事を務め、今期から研究企画委員も兼務した。中部支部第1回研究会はオンラインにより開催し、モデレーターを担当。その他には、ぎふ美術展企画委員、LED. 実行委員を継続し、新しくいくつかの委員に就任し会議に出席した。『私の関ヶ原』写真コンテスト審査員は3年目であったが、新型コロナウイルス感染症拡大にともないコンテストが中止となった。

■ 企画・発表 (タイムベースドメディア・プロジェクト)

IAMAS OPEN HOUSE 2020

サラマンカホール「三輪眞弘祭」に向けて

2020年7月24日(金)

IAMAS (SOFTOPIA JAPAN CENTER) よりライブ配信

トーク出演: 三輪 眞弘 松井 茂 前田 真二郎

フォルマント兄弟《霊界ラヂオ》+《ボイパと海行かば》公開リハーサル:
岡野勇仁、西村彰洋 (MIDI アコーディオン) 佐近田展康 (ラヂオ操作)



トークと公開リハーサルのライブ配信をディレクション

IAMAS Time-Based Media Project Presents

Online Screening & Talk #01

動いている庭 | The Garden in Movement

2020年8月1日(土) - 8月9日(日)

トークゲスト: 澤崎 賢一 山内 朋樹

聞き手: 松井 茂

企画・構成: 松井 茂 前田 真二郎

2016年第8回恵比寿映像祭でのプレミア上映を皮切りに各地で上映されてきた、澤崎賢一監督による映画『動いている庭』を期間限定で公開し、トークを配信。



上映前後の2部構成のトークをオンデマンドで準備映画『動いている庭』は4千以上のアクセスがあった

三輪眞弘祭 - 清められた夜 - プレイベント

プロローグ「音楽の終わりの終わり」は、ここからはじまる。
サラマンカホール よりライブ配信
2020年8月28日(金)

第1部 三輪眞弘による「三輪眞弘祭」プレゼンテーション

第2部 なぜ、いま「音楽の終わりの終わり」なのか？

出演：

岡田暁生（音楽学者、京都大学人文科学研究所教授）

前田真二郎、松井茂、三輪眞弘

＊司会：浦久俊彦（サラマンカホール音楽監督）



ライブ配信をディレクションし、シンポジウムに出演

ぎふ未来音楽展 2020 三輪眞弘祭 - 清められた夜 -

サラマンカホール よりライブ配信
2020年9月19日(土)

作曲・企画・構成：三輪眞弘

映像監督：前田真二郎

フォルマント音声合成：佐近田展康

詩：松井茂

写真：麥生田兵吾

出演：川口隆夫（ダンス） 岡野勇仁、西村彰洋（MIDI アコーディオン）

塚谷水無子（オルガン） 江原優美香（箏） ほんまなほ（ルバブ）

マルガサリ（ガムラン・アンサンブル）：恵美須屋直樹、大井卓也、

黒川岳、谷口かな、中川真、西村彰洋、森山みどり

公募パフォーマー 6羽の鶏

主催：サラマンカホール

共催：情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]、京都大学人文科学研究所



無観客のサラマンカホールでの3時間を超える公演を16台のカメラを駆使してモノクロームで配信

タイムベースドメディア 2021 展

IAMAS 2021 プロジェクト研究発表会

ソフトピアジャパン センタービル

2021年2月20日(土) - 23日(火・祝)

マルガサリ 特別公演『人形たちのための五芒星』

2021年2月23日(火・祝)

IAMAS よりライブ配信 16:00-

ガムラン演奏：マルガサリ 大井卓也 谷口かな 中川真 西真奈美
西村彰洋 森山みどり 柳野伽耶

スリン、ルバブ 演奏：ほんまなほ

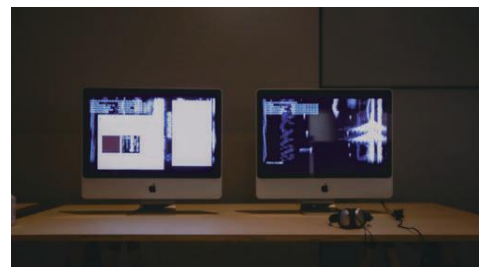
悪魔 (AR camera)：林暢彦

作曲：三輪眞弘 映像：前田真二郎 音響：牛山泰良

ARプログラミング：伏田昌弘 協力：西本昂生 石田駿太

またりさま人形 (2003) 制作：小笠原則彰

主催：タイムベースドメディア・プロジェクト



インターネット配信を前提とした作品と舞台作品のアーカイブを展示



ARオブジェクトを楽譜として演奏するガムラン公演は、「中継芸術」の可能性を示した

▪ 個人研究・作品制作／発表

[映像作品の制作]

日々 “hibi” AUG 2020 8min./FHD-digital/2020

8月の1ヶ月間、毎日撮影を行い、1日15秒の映像を選び、それをを順番に31カット繋げる映像作品『日々 “hibi” AUG』を2008年からシリーズで制作している。13作目にあたる『日々 “hibi” AUG 2020』を制作。



日々 “hibi” AUG 2020

BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW #12 FATHER

5min./FHD-digital/2020



BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW #12 FATHER

BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW #13 Heading to the sea

5min./FHD-digital/2021

指示書をもとに制作する5分の短編映画。上記の2作の制作に加えて、連作としてまとめた『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2020/2021』と、2008年から制作した中から8本を選んで編んだ『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2008-2021』を制作。



BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW #13 Heading to the sea

[発表]

'Chaos from Order - fullness of time' カオス・フロム・オーダー <時の庫>

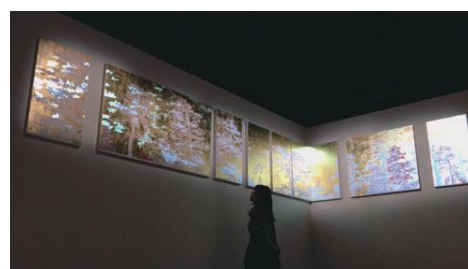
安喜 万佐子展 京都場 | kyoto-ba

2020年10月17日(土) - 12月6日(日)

pine trees #6 + birds / high tide (2020)

'gold leaf paintings with video projection series'

金箔絵画に映像をマッピングするコラボレーション作品を出品



pine trees #6 + birds / high tide

文化庁メディア芸術祭 京都展 「科学者の見つけた詩 -世界を見つめる目-

京都文化博物館 フィルムシアター

2021年1月6日(水) 18:30-・1月10日(日) 13:30-

BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW Omnibus Vol.1 “2011年4月”

52min./FHD-digital/2011

監督：前田真二郎、鈴木光、有川滋男、中沢あき、木村悟之、
峯 利子、石川多摩川、松島俊介、馬野訓子、西村知巳

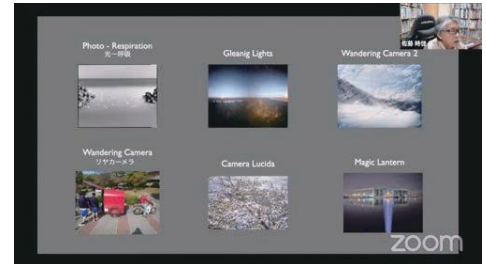
※ 第16回 文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞 受賞作品 (2012)



■ 企画・運営

2020 年度 | 日本映像学会 中部支部 | 第 1 回研究会
2020 年 12 月 12 日 (土)
IAMAS (SOFTOPIA JAPAN CENTER) よりライブ配信

招待講演：佐藤 時啓氏 (写真家)
研究発表：須藤 信 会員 鈴木 浩之 会員
モデレーター：前田真二郎



日本映像学会中部支部第 1 回研究会のモデレーターを担当。Zoom ウェビナーをプラットフォームにオンラインにて実施し、中部支部会員だけでなく、一般にも研究会を配信した。

■ 共同研究

(共同研究員として通年、下記の研究会に参加)

「システム内存在としての世界」についてのアートを媒介とする文理融合的研究
京都大学人文科学研究所

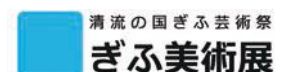
三輪 真弘 (情報科学芸術大学院大学) 班長
伊村 靖子 (情報科学芸術大学院大学)
岩崎 秀雄 (早稲田大学)
佐近田 展康 (名古屋学芸大学)
前田 真二郎 (情報科学芸術大学院大学)
松井 茂 (情報科学芸術大学院大学)
山崎 雅史 (株式会社 N T T データセキュリティシステムズ)
岡田 暁生 (京都大学) 副班長
瀬戸口 明久 (京都大学) 副班長
佐藤 淳二 (京都大学)
藤井 俊之 (京都大学)
上尾 真道 (京都大学)



IAMAS 在学生による LED ビジョン・コンテンツ
サカエチカ クリスタル広場 (名古屋市栄)

■ 社会活動

- ・ LED. 実行委員会 運営委員
- ・ 日本映像学会中部支部理事 研究企画委員兼任
- ・ ぎふ美術展企画委員
- ・ 岐阜市文化芸術推進審議会委員
- ・ 公益財団法人岐阜県教育文化財団 WEB ページ・リニューアルプロポーザル評価選考審査員



■ 受賞

第 20 回 佐治敬三賞 (サントリー芸術財団) 受賞
「ぎふ未来音楽展 2020 三輪真弘祭 一清められた夜」
(2021 年 3 月 18 日)



サラマンカホール (岐阜県) HP より